

ラグビーワールドカップ2019™ 東京都 交通輸送基本計画 について

計画の前提

- 位 置 付 け ラグビーワールドカップ2019組織委員会が策定するガイドラインを踏まえて開催都市が作成する交通輸送の計画
平成29年度：基本計画策定 ⇒ 平成30年度：実施計画策定
- 役 割 分 担 組織委員会：選手・大会関係者の輸送 等 / 東京都：観客の輸送、円滑な道路交通の確保 等
- 想定来場者数等 来場者数 : 約50,000人／試合
関係者等の車両台数：【開幕戦】約1,650台 【その他の試合】約1,200～1,500台

主な内容

1. 公共交通機関で来場する観客への対応

○ 鉄道輸送計画

- ・ 最寄りの鉄道駅：【京王線】飛田給駅 徒歩5分（西調布駅 徒歩8分）、【西武多摩川線】多磨駅 徒歩20分
- ・ 京王線飛田給駅では、特急・準特急の臨時停車を実施
- ・ 鉄道駅等において早期来場やシャトルバス利用を周知

○ 歩行者誘導計画

- ・ 最寄りの鉄道駅から最短距離で移動できるよう、歩行者動線を設定
- ・ 歩行者動線上において、誘導のための人員・サインを適切に配置
- ・ 交差点での信号サイクル調整等の対策を検討し、観客の滞留を抑制

○ シャトルバス輸送計画

- ・ 発着所：より多くの観客を効率的に輸送できるよう、運行時間や発着スペースを考慮して設定
【想定場所】調布駅、多磨駅、武蔵境駅、狛江駅、武蔵小金井駅
- ・ シャトルバス発着所周辺において、車両及び観客の的確な誘導を実施

2. 車で来場する大会関係者等への対応

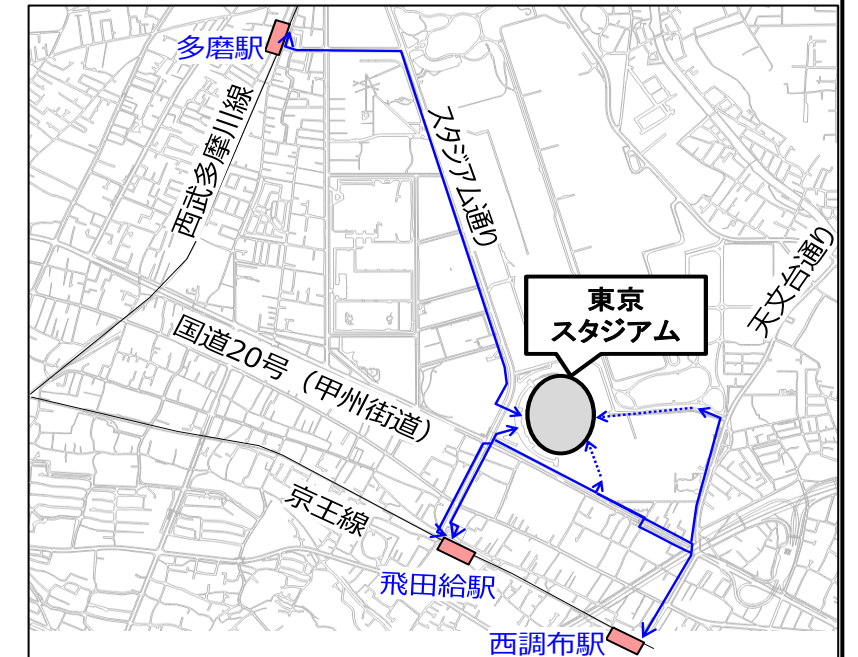
○ 自動車誘導計画

- ・ 特別に許可する者以外は、公共交通機関の利用を徹底
- ・ 関係者等の車両については、アクセスルートや入退場時間帯の分散により、道路混雑を緩和
- ・ 関係者等の駐車場については、東京スタジアム及び周辺の駐車場等を活用
- ・ 一般車の通行止め等、交通規制のあり方について検討

3. 交通広報

- ・ アクセスルートの混雑緩和を図るため、事業者等と連携して事前周知を徹底
(来場時間・アクセスルートの分散、公共交通機関の利用促進、道路混雑等の情報周知 等)
- ・ 主要ターミナル駅や空港等で会場へのアクセスを案内

[最寄りの鉄道駅からの歩行者動線イメージ]



[関係者等の車両動線イメージ]



ラグビーワールドカップ 2019TM

東京都 交通輸送基本計画

平成 30 年 3 月
東 京 都

目 次

1	計画の前提.....	1
2	鉄道輸送計画.....	7
3	シャトルバス輸送計画.....	9
4	歩行者誘導計画.....	1 1
5	自動車誘導計画.....	1 4
6	交通広報	1 6
7	輸送管理体制.....	1 7

1 計画の前提

1. 1 位置付け

ラグビーワールドカップ2019開催基本契約に基づき、組織委員会が策定するガイドラインを踏まえて開催都市が作成する交通輸送の計画

1. 2 意義・目的

大会に関わる全ての人々を、安心・安全を第一に、限られた時間で円滑に輸送できる計画を策定し、大会に向けて各関係機関が輸送に係る準備及び実施を行う基礎とする。

1. 3 構成

- ・計画の前提
- ・鉄道輸送計画
- ・シャトルバス輸送計画
- ・歩行者誘導計画
- ・自動車誘導計画
- ・交通広報
- ・輸送管理体制

1. 4 関係機関の役割

- ・組織委員会 : 選手・大会関係者の輸送 等
- ・東京都 : 観客の輸送、円滑な道路交通の確保、駐車場の提供 等
- ・交通事業者等 : 各所管サービスの提供 等

1. 5 その他

平成29年度に基本計画を策定し、今後、各関係機関や周辺計画との調整により、項目・内容等を精査し、平成30年度に実施計画を策定する。

1. 6 前提条件

1. 6. 1 試合会場

- ・名称 : 東京スタジアム
- ・所在地 : 東京都調布市西町376番地3



図 1-1 東京スタジアム位置図（会場周辺広域）

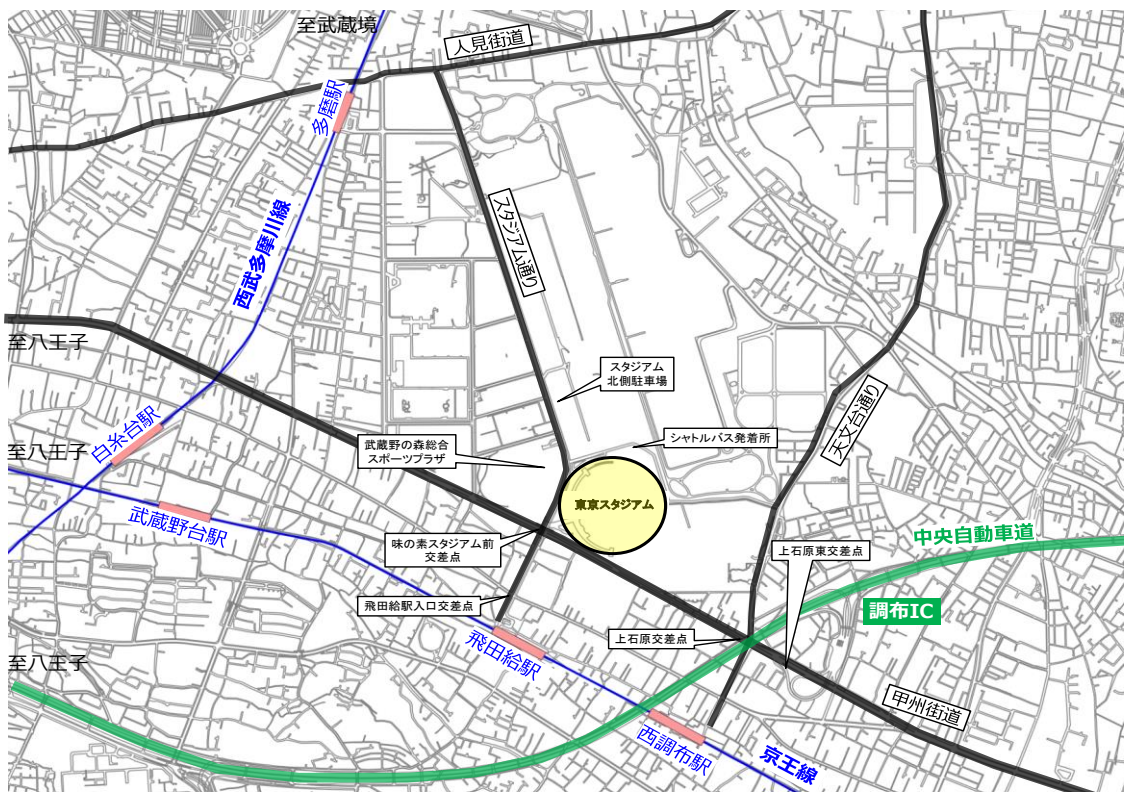


図 1-2 東京スタジアム位置図（会場周辺）

1. 6. 2 試合日程

東京スタジアムで開催される試合等は以下の日程で予定されている。

日程	開始時間	内容
9月20日（金）	18:30	開会式
	19:45	日本 対 ヨーロッパ地区代表
9月21日（土）	16:15	フランス 対 アルゼンチン
9月29日（日）	16:45	オーストラリア 対 ウェールズ
10月5日（土）	17:00	イングランド 対 アルゼンチン
10月6日（日）	13:45	ニュージーランド 対 アフリカ地区代表
10月19日（土）	19:15	準々決勝
10月20日（日）	19:15	準々決勝
11月1日（金）	18:00	3位決定戦

表 1-1 試合日程（東京スタジアム）

1. 6. 3 来場者数

自動車で来場する大会関係者等を 5,000 人、その他の交通手段で来場する観客を 45,000 人とし、収容人数 50,000 人で想定する。

1. 6. 4 観客の交通分担率

平成28・29年度のイベント調査結果を基本とし、諸条件を調整して以下のとおり想定する。

【入場時】

交通手段		交通分担率		推計時の 観客数（人）	
鉄道	飛田給駅	80%	90%	36,000	40,500
	西調布駅	6%		2,700	
	多磨駅	4%		1,800	
シャトルバス		6%		2,700	
その他（自転車、タクシー、徒歩等）		4%		1,800	
合計		100%		45,000	

【退場時】

交通手段		交通分担率		推計時の 観客数（人）	
鉄道	飛田給駅	76%	86%	34, 200	38, 700
	西調布駅	5%		2, 250	
	多磨駅	5%		2, 250	
シャトルバス		8%		3, 600	
その他（自転車、タクシー、徒歩等）		6%		2, 700	
合計		100%		45, 000	

表 1-2 入退場時の観客の交通分担率

1. 6. 5 観客の入退場分布

平成28・29年度のイベント調査結果等を踏まえ、以下のとおり想定する。

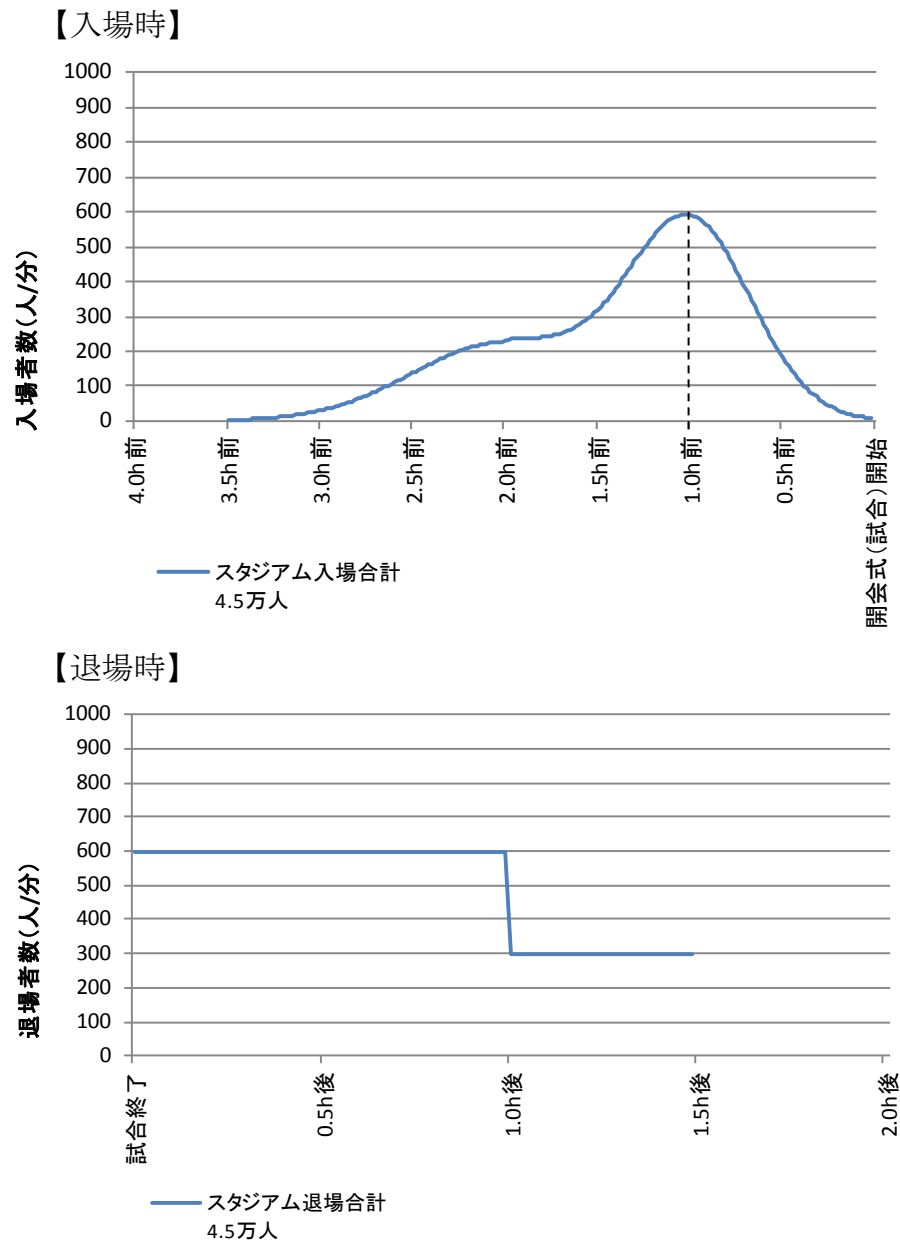


図 1-3 観客の入退場分布

1. 6. 6 関係者等車両台数・入退場分布

交通輸送ガイドラインに基づき、以下のとおり想定する。

※詳細は、今後、組織委員会と東京都で協議する。

(1) 関係者等車両台数

【開幕戦】

約 1,650 台※（普通車約 1,500 台、バス等約 150 台）

【その他の試合】

約 1,200～1,500 台※程度

※警察関係車両を除く

(2) 入退場分布

【入場時】

開会式／試合開始の 4 時間以上前から入場開始し、約 2 時間前頃がピークとなる。チーム入場は、試合開始の 90 分及び 80 分前を予定している。

【退場時】

試合終了の約 1.5 時間後頃をピークに、全車両が 3 時間以上かけて退場する。チーム退場は、試合終了の 90～120 分後を予定している。

2 鉄道輸送計画

2. 1 最寄りの鉄道駅

- ・京王線 : 飛田給駅 徒歩 5 分（西調布駅 徒歩 8 分）
- ・西武多摩川線 : 多磨駅 徒歩 20 分

2. 2 運行ダイヤ

観客の利用を踏まえた需要に対応する列車本数を確保する。

京王線飛田給駅では、改札付近及び車内混雑抑制のため特急・準特急の臨時停車を実施する。

参考 表 2-1 大規模イベント開催時の時間帯別運行本数（2017 年 6 月 7 日(水)サッカー日本代表戦の例）

【京王線飛田給駅】

時間帯	新宿方面（上り）運行本数		八王子方面（下り）運行本数	
	通常時(本)	臨時停車 対応時(本)	通常時(本)	臨時停車 対応時(本)
16:00 ～ 17:00	6	6	6	6
17:00 ～ 18:00	6	9	6	10
18:00 ～ 19:00	6	12	6	12
19:00 ～ 20:00	6	9	6	9
21:00 ～ 22:00	7	10	6	9
22:00 ～ 23:00	6	11	5	10
23:00 ～ 0:00	5	6	6	7
0:00 ～ 1:00	3	3	5	5

【西武多摩川線多磨駅】

時間帯	是政方面	武蔵境方面
16:00 ～ 17:00	5	5
17:00 ～ 18:00	5	5
18:00 ～ 19:00	5	5
19:00 ～ 20:00	5	5
21:00 ～ 22:00	4	4
22:00 ～ 23:00	4	4
23:00 ～ 0:00	3	3
0:00 ～ 1:00	1	0

2. 3 改札機の対応

改札混雑時の対応策として、入退場ピークの観客利用者の集中時には、状況に応じて改札機の運用機数の変更を実施する。

2. 4 駅構内の対応

駅構内混雑時の対応策として、観客利用者の集中時、混雑により危険が生じる状況が見られる場合には、改札入場規制等の臨時的な運用を実施する。

2. 5 案内・誘導

鉄道駅及び列車車内において、案内・誘導を実施する。

(1) 内容 (例)

- ・京王線飛田給駅への集中回避のため、西武多摩川線多磨駅の利用、シャトルバス発着駅や早期来場を周知
- ・往路については、京王線八王子方面の特急・準特急の混雑抑制のため、当該列車以外への分散乗車を促進 等

(2) 方法 (例)

- ・駅・車内貼りポスター、案内看板・ブースの設置
- ・車内トレインチャンネルの活用
- ・駅構内及び車内におけるアナウンスの実施 等

※その他、事前の周知等については「6 交通広報」に記載

3 シャトルバス輸送計画

3. 1 運行内容

シャトルバス発着所については、周辺の各鉄道路線とスタジアム間の輸送ルートを確認し、より多くの観客を効率的に輸送できるよう、運行時間や発着スペース等を考慮して設定する。

【想定場所】

- ・スタジアム内発着所：スタジアム北側広場
- ・発着駅：（入場時）調布駅、多磨駅、武蔵境駅、狛江駅
（退場時）調布駅、多磨駅、武蔵境駅、武蔵小金井駅、狛江駅

観客の利用を踏まえた需要に対応する便数を、開会式／試合時間帯の前後に運行する。

3. 2 運行ルート

東京スタジアムで行われる大規模イベント時に運行された実績のあるルートを基本として設定する。

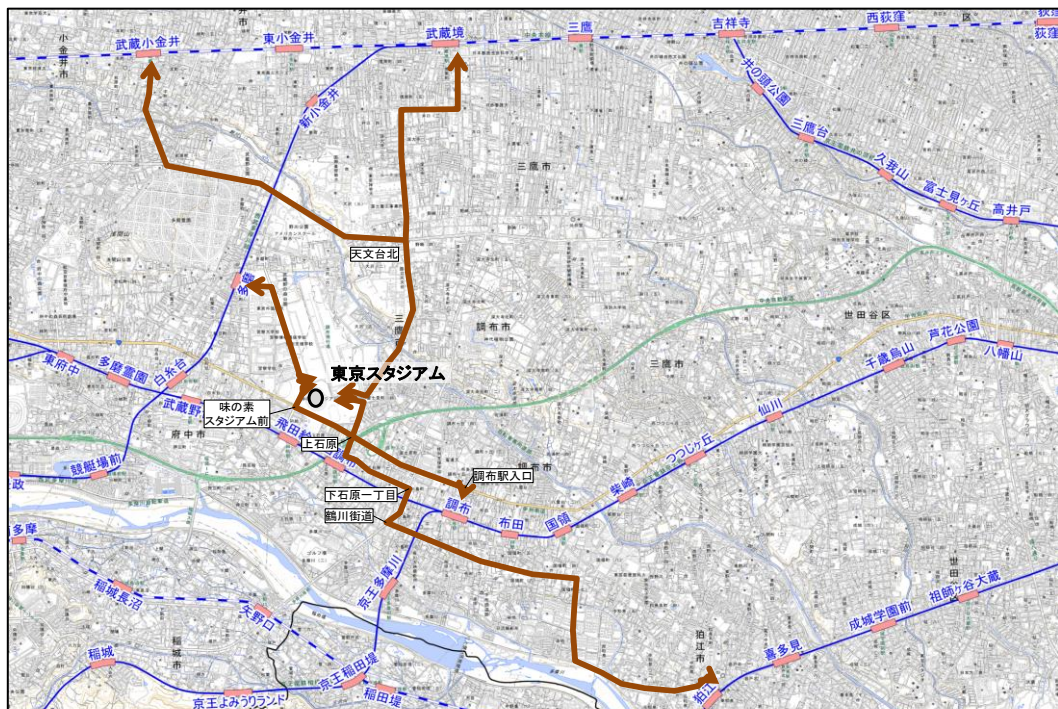


図 3-1 シャトルバスの運行ルート（実績）

3. 3 案内・誘導

シャトルバス発着所周辺において、案内・誘導を実施する。

(1) 内容 (例)

- ・ スタジアム周辺道路の混雑状況に応じた、効率的な車両誘導
- ・ 観客の円滑な入退場確保のため、シャトルバス発着所への的確な誘導 等

(2) 方法 (例)

- ・ 警備員・スタッフ等の適切な配置
- ・ 案内看板の効果的な設置 等

※その他、事前の周知等については「6 交通広報」に記載

4 歩行者誘導計画

4. 1 歩行者動線

最寄りの鉄道駅から最短距離で移動できるよう、歩行者動線を設定する。

4. 2 誘導員配置・誘導サインの設置

歩行者の安全かつ円滑な移動を確保するため、歩行者動線上において誘導のための人員・サインを適切に配置する。

外国人や障害者等、誰もが安全・確実に移動できるよう、バリアフリーの連続性を備えた動線を確保するとともに、スタッフ等による的確な案内・誘導を行う。

誘導サインは、外国人の来場を想定し、日英2カ国語で表記する。

4. 3 一般歩行者動線の確保

飛田給駅とスタジアム間の歩道部及び階段部で、パーテーションの設置等により、観客と逆方面への地元住民等一般歩行者用の動線を確保する。

4. 4 歩道における観客の滞留への対応

飛田給駅入口交差点等のスタジアム周辺道路において、観客の滞留の抑制を図る。

歩行者のピーク時における信号サイクルの調整等、現場の交通状況を踏まえた対策の実施について検討する。

4. 5 スタジアム周辺道路の乱横断防止対策

スタジアム周辺道路における乱横断を防止するため、道路の現況を踏まえ、注意喚起看板・横断幕等の設置、横断防止柵の設置、警備員による注意喚起、警察による指導等を実施する。

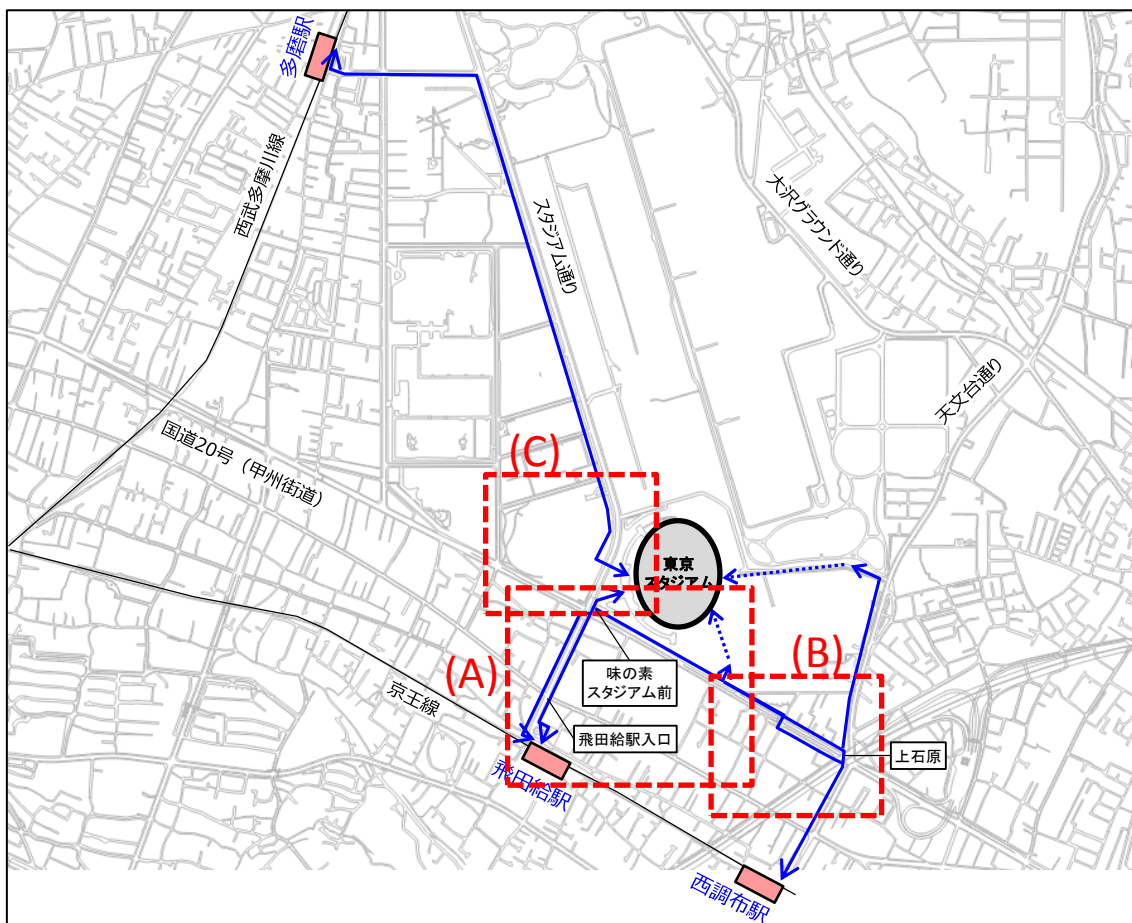


図 4-1 最寄りの鉄道駅からの歩行者動線イメージ（全体）

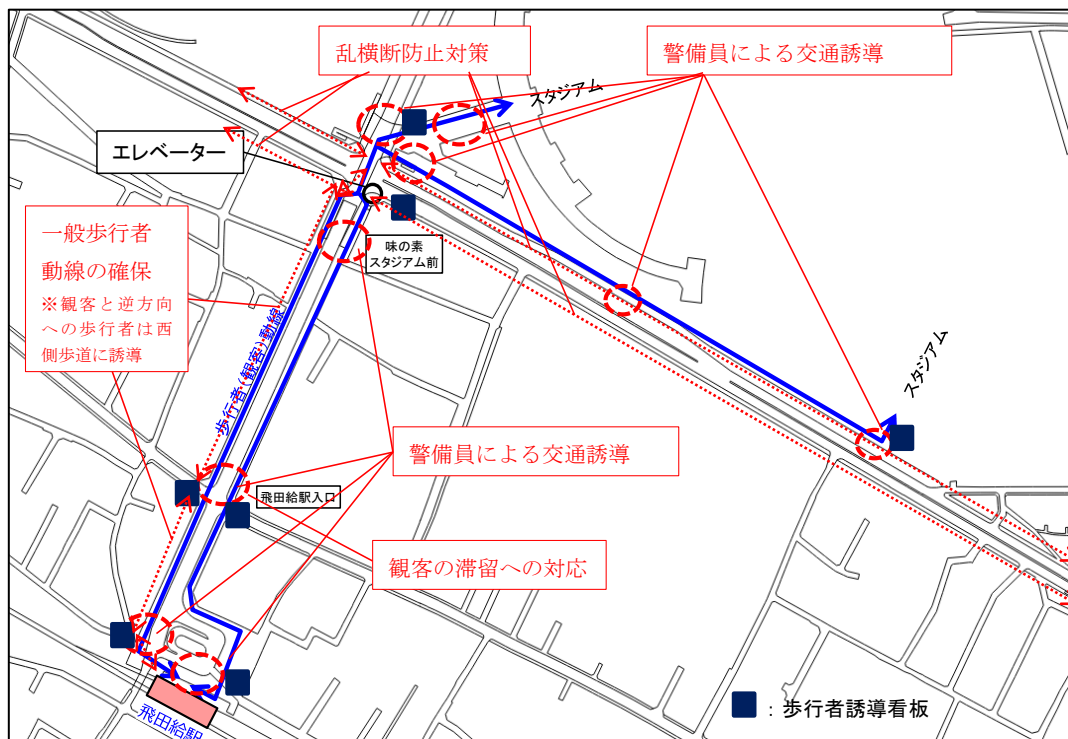


図 4-1(A)東京スタジアム南側（飛田給駅周辺）

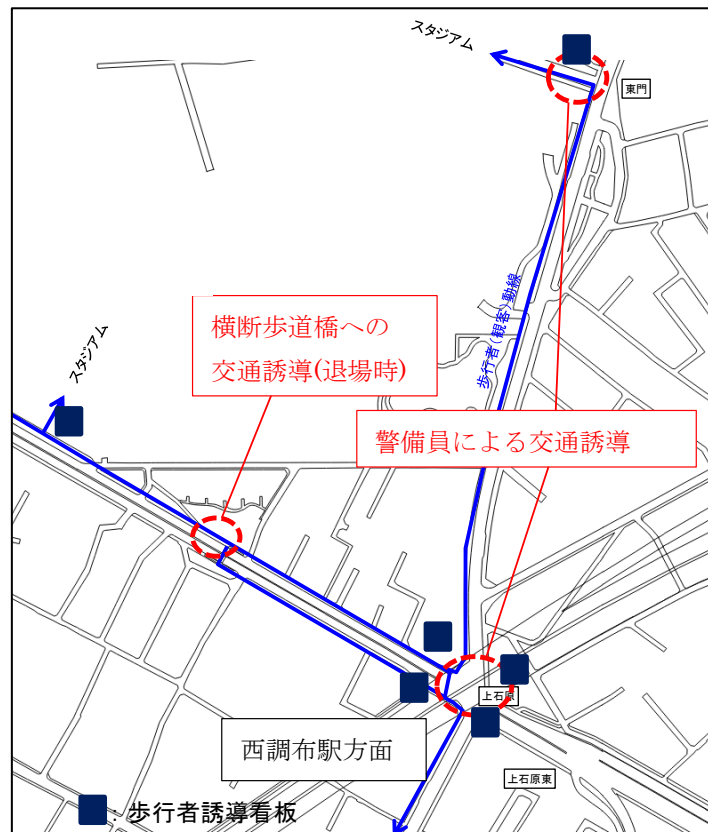


図 4-1(B)東京スタジアム東側（西調布駅周辺）

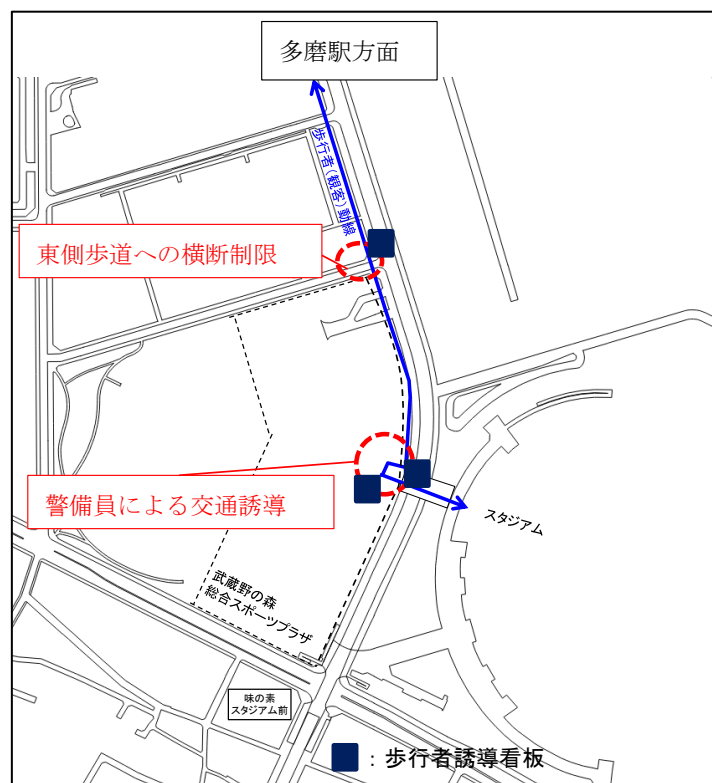


図 4-1(C)東京スタジアム西側

5 自動車誘導計画

5. 1 関係者等車両ルート

スタジアム周辺道路の混雑回避のため、組織委員会が特別に許可する者以外は、公共交通機関の利用を徹底する。

調布 I C の他、国立府中 I C や高井戸 I C 等の利用によりアクセスルートを分散し、会場周辺の道路混雑の緩和を図る。また、大会関係者の役割等を考慮して、車両の入退場時間帯の分散を図る。

駐車場については、東京スタジアム及び武蔵野の森総合スポーツプラザ駐車場／スタジアム北側エリア／スタジアム東側エリア／武蔵野の森公園駐車場への配置を想定し、具体的な場所等は今後調整していく。駐車場出入口に警備員を配置し、円滑な入出庫を確保する。

5. 2 交通規制

関係者等車両・シャトルバスの円滑な移動及び定時性を確保するとともに、スタジアム周辺道路における歩行者の安全確保等のため、一般車の通行止め等、交通規制のあり方について検討する。

5. 3 タクシー利用

タクシーの降車及び乗車については、所定の乗降場で行うよう周知・誘導する。位置については、今後調整する。

5. 4 違法駐車対策

スタジアム周辺での違法駐車を防止するために、スタジアムに隣接する付加車線の閉鎖、ロードコーンの設置、警備員による注意喚起等を行う。

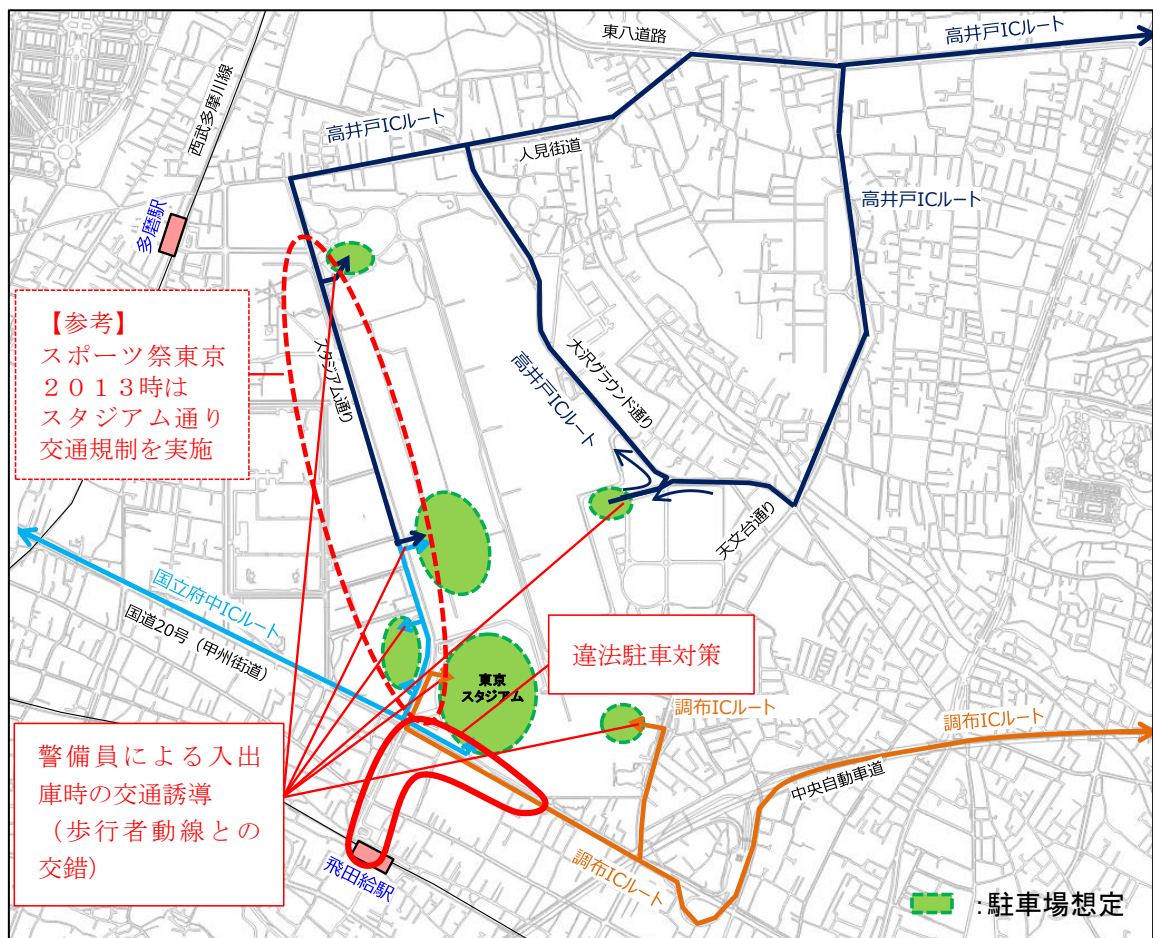


図 5-1 関係者等車両動線イメージ

6 交通広報

アクセスルートの混雑緩和を図るため、事業者等と連携して事前周知の徹底を図る。

6. 1 観客に対する広報

観客の来場時間及びアクセスルートの分散を促進するとともに、公共交通機関利用を徹底する。

【方法例】

ホームページ、SNS、チラシ、ポスター、広報紙、チケット ID*を活用した情報発信等

※チケット ID：チケットの申し込み・購入時に個人認証のために使用される ID

住所、氏名、性別、生年月日などの個人情報を登録して利用者自らが取得する

6. 2 周辺の公共交通機関・道路の利用者に対する広報

鉄道・周辺地域の混雑等の情報を周知するとともに、周辺道路での自動車利用を抑制する。

【方法例】

ホームページ、SNS、チラシ、ポスター、広報紙、看板・横断幕、道路情報表示板等

6. 3 主要交通アクセス拠点における案内

主要ターミナル駅や空港等で会場アクセスを案内する。

【方法例】

案内ブース、看板、構内アナウンス等

7 輸送管理体制

大会時には、交通輸送本部が設置され、各関係機関等と連絡・調整する。

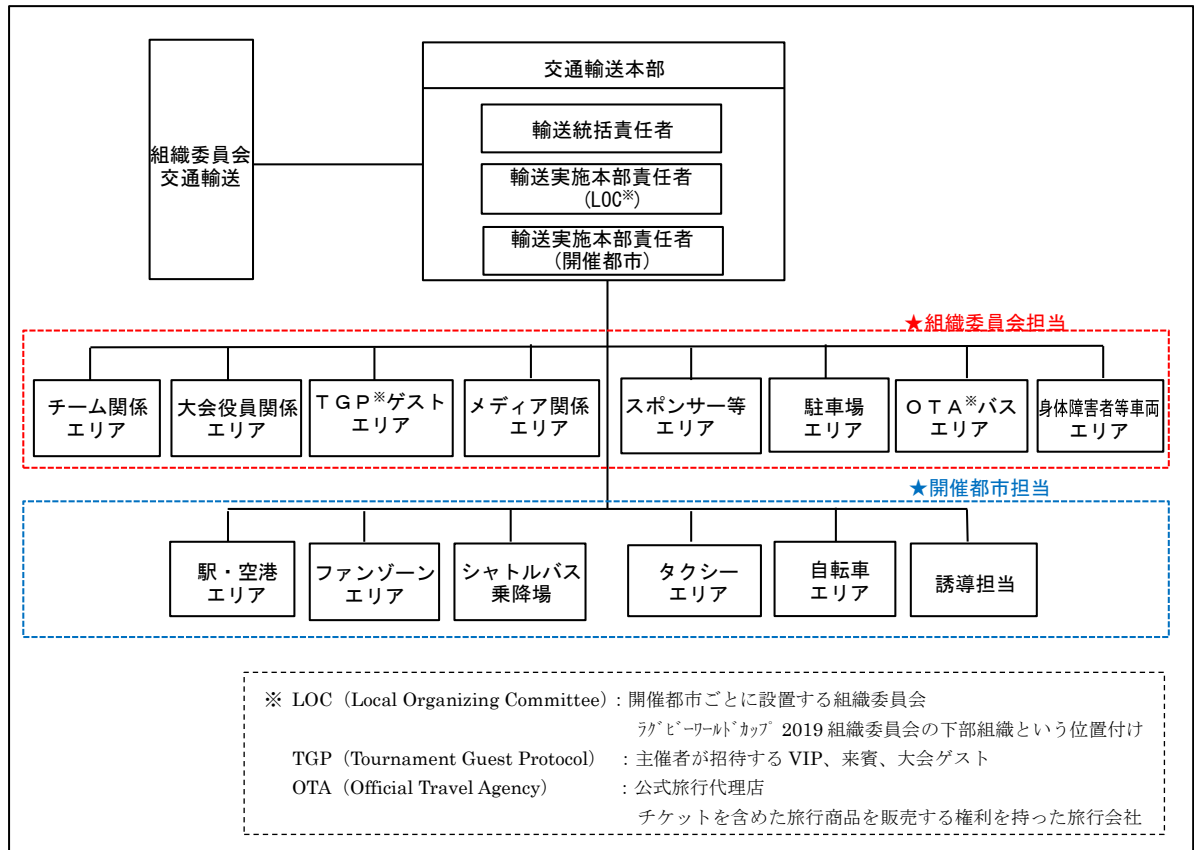


図 7-1 大会時の輸送管理体制